様式第３号（第６条関係）別紙

議員特別研修実施報告書

報告議員名	石川　拓也	報告日	令和8年7月17日
調査研究・研修等 名　　称	①多摩市行政視察　②国会内研修会		
実　施　日	令和8年7月9日～10日		
会　　場	①多摩市役所　②衆議院第一議員会館		
調査研究・研修等の 概　　要	①多摩市 ・緑地内樹木更新モデル事業について ・スマートフォンアプリ「マイシティレポート」について ②衆議院第一議員会館 ・クマ対策について		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。
※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

・緑地内樹木更新モデルについて
多摩市は自然豊かな公園数が 200 以上ある都内№1 の公園緑地が整備されたまちです。
ですが大径木や高木が増加しナラ枯れ等による枯損が課題となっており、樹木の若返りを実施している。ボランティア活動が活発であるが大径木であることから伐採は困難、また財政的にも大きな負担となっている為、萌芽更新によって樹木を小さくし次回の更新タイミング時に市民主体の更新作業も期待する手法をとっている。樹木の若返りと適正管理のモデルをつくり、今後市内の他の緑地に普及される。横手市は広大な盆地な為地域を絞ったかたちで市民参加型の公有林管理のさらなる活性化や、新しい自然の発見や街並みと一体化した緑地を目指せる可能性があると感じた。

・スマートフォンアプリ「マイシティレポート」について
横手市でも春先になると道路に多くの不具合箇所や街路灯の不点灯など、これまで市民の皆さんが役場に連絡をしたり誰かに相談したり、定期巡回での手直しをしてきました。このマイシティレポートを使い位置情報と市民の皆さんからの写真の投稿により現場確認の時間短縮や現状の修復の緊急性、早期発見が可能となる。また職員間での伝達漏れや場所の誤りがなく確実に投稿内容が共有できる利点もある。横手市の現状にもマッチする内容ですので取り扱いできることを強くすすめていきたい。

・クマ対策について
秋田県でも喫緊の課題であり早急に策を講じる必要性のある対策です。環境省によりますと、クマ被害対策パッケージを策定し 2030 年までに都道府県や市町村と連携しつつ、関係省庁が一体となって政策資源を総動員し施策を体系的に実施することで、クマ被害対策の継続的かつ効果的な推進を図るとしています。
①出没時の緊急対応
緊急時における対応整備の支援、対応体制の維持と向上
②人の生活圏への出没防止
放任果樹等の誘引物の管理支援、はこなわ、クマ撃退スプレー等の資機材整備支援、ゾーニング管理計画の作成支援
③個体数管理の強化
個体数調査、調査結果のフォローアップ
④人材確保と育成
ガバメントハンターを含む捕獲者の確保、高度な捕獲技術者育成
⑤クマの生息環境の保全と整備
安定的な生息環境の確保
⑥情報の発信
国民に向けたクマ対応の情報発信
⑦その他財政措置
研究開発、国立公園の安全強化、予算の確保
〇関係閣僚会議や関係省庁連絡会議を毎年開催し進捗を管理、順応的なクマ対策を実施していくとしています。